

4. 看護栄養学部看護学科履修要項

1) 授業科目と卒業要件単位

次の授業科目から規定以上の単位を修得し、卒業要件単位を満たさなければなりません。

基礎教育科目	・ 人間的成長を促す領域 ： 18 単位以上（必修 14 単位、選択 4 単位以上）
	・ 情報を活用し表現力を高める領域 ： 7 単位以上（必修 5 単位、選択 2 単位以上）
専門教育科目	・ 看護の基盤となる領域： 29 単位以上
	・ 看護の軸となる領域： 46 単位以上
	・ 実践力を発揮する領域： 25 単位以上
	合 計： 125 単位以上

*看護栄養学部看護学科に4年以上在学し上記の卒業要件を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業の認定をします。卒業を認定された者には学士（看護学）の称号が与えられ看護師国家試験受験資格を取得できます。[保健師助産師看護師学校養成所指定規則（平成23年文部科学省・厚生労働省令第1号）第4条に基づく]

2) 科目履修

- (1) 授業科目は、基本的に基礎教育科目から専門教育科目に進むよう配当されています。その中で何をどのような順で学んでいくかは、自らが、シラバスを参考に目的及び目標にしたがって選んでいきます。
- (2) 専門教育科目の実践力を発揮する科目は主に臨地実習で構成されています。
- (3) 講義及び演習の単位認定については、便覧 P11 の単位認定規定に基づきますが、臨地実習の履修及び単位認定については、別に定めています。

3) 履修登録単位数の上限

看護学科では、学修の効果を考慮し、通常の授業期間で行われている科目について1年間の履修登録単位数の上限を48単位とします。

ただし保健師に関する科目、助産師に関する科目、教職に関する科目、集中講義科目、他学科及び他大学履修科目を除きます。

また編入生については、上限を超えて履修登録できるものとします。

4) 選択科目と資格

(1) 選択として以下の資格が取得できます。

保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格、高等学校教諭一種免許状（看護）、養護教諭一種免許状。ただし、全ての資格を同時に取得することはできません。取得可能な資格の組み合わせは以下のとおりです。

(2) 取得可能な資格の組み合わせ

パターン	看護師国家試験受験資格	保健師国家試験受験資格	助産師国家試験受験資格	教 職	
				高等学校教諭一種免許状（看護）	養護教諭一種免許状
1	○				
2	○	○			
3	○		○		
4	○			○	○
5	○			○	
6	○				○
7	○	○		○	○
8	○	○		○	
9	○	○			○

(3) 保健師国家試験受験資格を取得するためには、保健師に関する科目とそれに関する実習を履修する必要があります。[保健師助産師看護師学校養成所指定規則（平成23年文部科学省・厚生労働省令第1号）第2条に基づく]

(4) 助産師国家試験受験資格を取得するためには、助産師に関する科目とそれに関する実習を履修する必要があります。[保健師助産師看護師学校養成所指定規則（平成23年文部科学省・厚生労働省令第1号）第3条に基づく]

(5) 高等学校教諭一種免許状（看護）、養護教諭一種免許状を取得するためには、教職科目を履修する必要があります。

ただし、(3)、(4)、(5)を選択する場合はそれぞれの選考基準が設けてあります。この選考基準を満たした者が選択を許可されますので十分注意してください。

系列	領域	分類	授 業 科 目 名	履修 方法	履修単位数		履修時期（週時間数）								資格必修							
					必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後	看 護 師	保 健 師	助 産 師	高 一 看	養 護 教			
専 門 教 育 科 目 と な る 領 域	看護の 基盤と なる 領域	ケア ア リ ン グ	人間関係論	L	2			2								○				○		
			ここらからの科学	S	1				2								○				○	
			グループダイナミクス	S	1				2								○					
			看護心理学	L	2						2						○					
			キリスト教と生命倫理	L	2										2	○						
		社会・ 制度・ 倫理	日本国憲法	L	2			2									○				○	○
			看護と法	L	1				1								○					
			社会福祉概論	L	2					2							○					
			社会保障制度と健康	S	1						2						○	○			○	
			看護と倫理	L	2									2			○				○	
			看護教育学	S		1								2								
		看護 論	看護原論	L	2			2									○				○	○
			看護の思想	S	1				2								○				○	○
			原著で読む看護論	L	2				2								○				○	○
		看護 技術	援助技術論	P	2			6									○				○	○
	生活援助論		P	1				3								○				○	○	
	診療援助論		P	1					3							○				○	○	
	看護診断学概説		S	1					2							○				○	○	
	看護診断学		S	1						2						○				○	○	
	看護方法論実践		P	2					2W							○				○	○	
	人間の 発達	発達援助論	L	2			2									○				○	○	
		発達援助実践	P	2			2W									○				○	○	
		老年看護学概論	S	1					2							○				○	○	
		母性保健概論	L	1					1							○		○				
		こども成育論	S	2						4						○				○	○	
		健康 の 科学	人体探検科学（構造）	S	2			4									○				○	○
			人体探検科学（機能）	S	2				4								○				○	○
			健康スポーツⅠ	S	1			2									○				○	○
			健康スポーツⅡ	S	1			2									○				○	○
			健康論	S	1			2									○	○			○	○
			生体防御論	L	2				2								○				○	○
			生体栄養学	L	2				2								○				○	○
			精神健康論	L	2					2							○					
			感染看護	L	1					1							○					
			健康教育論	S	1						2						○					
	生活 の 支 援	病態栄養学	S	1						2						○				○	○	
		看護病態学	L	2					2							○				○	○	
		看護薬理学	L	2						2						○				○	○	
		クリティカルケア	S	1							2					○				○	○	
		リハビリテーション看護	L	1							1					○				○	○	
		母性看護学	S	2							4					○		○				
		こども看護学	S	1								2				○				○	○	
老年看護学		S	1								2				○				○	○		
生活調整援助論（病態編）		S	1						2						○				○	○		
生活調整援助論（看護編）		S	2						4						○				○	○		
生活再構築援助論（病態編）		S	1								2				○				○	○		
生活再構築援助論（看護編）		S	2								4				○				○	○		
がんを病む人の援助論		S	2									4			○				○	○		
精神看護学概論		S	1									2			○				○	○		
精神看護学		S	1									2			○				○	○		
在宅看護論		S	1									2			○				○	○		
地域看護		S	1									2			○	○				○		

系列	領域	分類	授業科目名	履修方法	履修単位数		履修時期(週時間数)								資格必修					選択外履修可能科目					
					必修	選択	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後	看護師	保健師	助産師	高一看	養護教						
専 門 教 育 科 目	看護の軸となる領域	公衆衛生看護	公衆衛生看護学概論	S		2						4					○								
			学校保健	L		2						2						○						○	
			健康行動科学	S		1						2						○							
			看護概論	L		2						2						○							○
			保健統計学Ⅰ	S		1						2						○							*
			保健統計学Ⅱ	S		1										2		○							
			疫学	S		1						2						○							*
			疫学活用論	S		1										2		○							
			保健医療福祉行政論	S		1										2		○							
			保健医療福祉行政展開論	S		1										2		○							
			産業保健	S		1										2		○							
			地域保健診断	S		2										4		○							
			地域組織協働論	S		2										4		○							
			公衆衛生看護管理論	S		1										2		○							
	健康相談活動の理論及び方法	L		2										2		○							○		
	保健指導技術論	S		2										4		○									
	母子看護	母子看護	母子の心理と社会	S		1						2						○						*	
			助産学概論	S		1						2						○							
			母子の基礎科学	L		3								3				○							
			地域母子保健	L		1						1						○							
			母子の健康教育	S		1							2					○							
			助産診断・技術学	S		2								4				○							
			助産診断・技術学演習Ⅰ	S		2								4				○							
			助産診断・技術学演習Ⅱ	S		2								4				○							
	助産管理Ⅰ	L		1									1			○									
	助産管理Ⅱ	L		1										1		○									
	実践力を発揮する領域	実践看護学	実践看護学演習	P		1						3					○								
			看護マネジメント論	S		1								2				○							
			地域看護実践	P		1										1W		○						○	
			こども保健実習	P		1										1W		○						○	
			こども看護実践	P		2									2W			○						○	
			精神看護実践	P		2									2W			○							
健康回復支援実践(基礎)			P		3									3W			○						○		
健康回復支援実践(応用)			P		3									3W			○								
母性看護実践			P		2									2W			○								
老年看護実践			P		4									4W			○						○		
継続生活支援実践			P		1										1W			○							
保健所実践・市町村保健センター実践			P		3										3W			○							
福祉・組織実習			P		1										1W			○							
助産診断・技術実践			P		8										8W			○							
助産継続事例実践	P		1										1W			○									
地域母子保健実践	P		1										1W			○									
助産管理実践	P		1										1W			○									
の 看 護	看とりの看護	死生学	L		1					1						○									
		緩和ケア学	S		2						4						○								
		緩和ケア実践	P		1									1W			○								
ト レ ビ ン グ ス	最新	看護探検	S		1								2			○									
		看護リフレクション	S		1									2											

*保健師選択, 助産師選択以外の学生も履修可能な科目

系 列	授 業 科 目 名	履修 方法	履修単位数		履修時期（週時間数）								資格必修					
			必修	選択	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後	看 護 師	保 健 師	助 産 師	高 一 看	養 護 教	
専 門 教 育 科 目	学校インターンシップⅠ	P		1		3												
	教職フィールドワークⅠ	S		2				2										
	養護教諭フィールドワーク	S		1				1										
	教職論	L		2	2												○	○
	教育原理	L		2		2											○	○
	発達と教育	L		2			2										○	○
	教育制度論	L		2				2									○	○
	カリキュラム編成論	L		2				2									○	○
	看護科教育法	L		2					2								○	
	道徳の指導法	L		2					2									○
	特別活動の指導法	L		2					2								○	○
	教育の方法・技術	L		2				2									○	○
	生徒指導の研究	L		2			2										○	○
	教育相談の理論と方法	L		2							2						○	○
	教職実践演習（中・高）	S		2								2					○	
	教職実践演習（養護教諭）	S		2								2						○
	教育実習Ⅰ	S		1							2						○	
	教育実習Ⅱ	P		2							2w						○	
	養護実習Ⅰ	S		1							2							○
養護実習Ⅱ	P		4							4w							○	

5) 看護学科選考基準

(1) 保健師選択のための選考基準

保健師選択を希望する者は、保健師・助産師・教職選択のための選考願を2年次の2月に学生支援課を通して看護学科長に提出しなければなりません。提出日程の詳細については別に提示します。

看護学科会は、次の事項について審議し、保健師選択学生を2年終了時に決定します。

- ① 2年後期までに開講される必修科目は、すべて単位修得していること。
- ② 2年後期までに履修した必修科目の成績平均が、75点以上であること。
- ③ 授業の参加状況等が良好であること。

保健師選択決定の通知は、看護学科会が学生に行います。ただし、選考決定後も以下の要件を満たさなければ、審議の対象となり、選考が取り消される場合があります。

- ① 3年次に開講される必修科目は、すべて単位修得していること。
- ② 3年次の成績平均が、75点以上であること。

なお、選択が取り消しとなった場合は、保健師選択者の追加はできません。また、助産師や教職の選択もできません。

(2) 助産師選択のための選考基準

助産師選択を希望する者は、保健師・助産師・教職選択のための選考願を2年次の2月に学生支援課を通して看護学科長に提出しなければなりません。提出日程の詳細については別に提示します。

看護学科会は、選考試験を行い、かつ次の事項について審議し、助産師選択学生を2年終了時に決定します。ただし、選考人数は6名を限度とします。

- ① 2年後期までに開講される必修科目は、すべて単位修得していること。
- ② 2年後期までに履修した必修科目の成績平均が、75点以上であること。
- ③ 「女性の健康」「母性保健概論」「母性看護学」の成績が優秀であること。
- ④ 授業の参加状況等が良好であること。
- ⑤ 選考試験が優秀であること。

助産師選択決定の通知は、看護学科会が学生に行います。ただし、選考決定後も以下の要件を満たさなければ、審議の対象となり、選択が取り消される場合があります。

- ① 3年次に開講される必修科目は、すべて単位修得していること。
- ② 3年次の成績平均が75点以上であること。
- ③ 「母性看護実践」の成績が75点以上であること。

なお、選択が取り消しとなった場合は、助産師選択者の追加はできません。また、保健師や教職の選択もできません。

(3) 教職選択のための選考基準

高等学校教諭一種免許（看護）及び養護教諭一種免許の取得を希望する者は、保健師・助産師・教職選択のための選考願を2年次の2月に学生支援課を通して看護学科長に提出しなければなりません。提出日程の詳細については別に提示します。

看護学科会は、次の事項について審議し、教職選択学生を2年終了時に決定します。

- ① 2年後期までに開講される基礎教育科目、看護に関する専門教育科目及び教職に関する科目の必修科目は、すべて単位修得していること。
- ② 2年後期までに開講される基礎教育科目、看護に関する専門教育科目及び教職に関する科目の必修科目の成績平均が、原則として80点以上であること。
- ③ 授業の参加状況等が良好であること。

教職選択決定の通知は、看護学科会が学生に行います。ただし、2年終了時に教職選択を許可された学生であっても、4年次の教育実習Ⅱ、養護実習Ⅱを履修するためには以下の条件を満たしていなければなりません。

- ① 3年次終了までに開講されている基礎教育科目、看護に関する専門教育科目及び教職に関する科目の必修科目は、原則としてすべて単位修得していること。
- ② 教育実習Ⅱは、「教育実習Ⅰ」を履修登録済みであること。
- ③ 養護実習Ⅱは、「養護実習Ⅰ」を履修登録済みであること。
- ④ 3年次も含めた授業の参加状況等が良好であること。

6) 選択科目の履修案内**(1) 保健師に関する科目の履修案内**

保健師国家試験受験資格を得るには、保健師に関する専門教育科目を履修し、その単位を修得しなければなりません。

① 保健師に関する専門教育科目

科目名	単位	科目名	単位
公衆衛生看護学概論	2	産業保健	1
学校保健	2	地域保健診断	2
健康行動科学	1	地域組織協働論	2
養護概論	2	公衆衛生看護管理論	1
保健統計学Ⅰ	1	健康相談活動の理論及び方法	2
保健統計学Ⅱ	1	保健指導技術論	2
疫学	1	継続生活支援実践	1
疫学活用論	1	保健所実践・市町村保健センター実践	3
保健医療福祉行政論	1	福祉・組織実習	1
保健医療福祉行政展開論	1		

合計 28 単位

② 履修期間

主に3年次、4年次に履修するよう計画されています。

③ 履修手続きと選考

履修手続きの詳細は別に説明をします。選考方法は、選考基準に従って行われます。

(2) 助産師に関する科目の履修案内

助産師国家試験受験資格を得るには、助産師に関する専門教育科目を履修し、その単位を修得しなければなりません。

① 助産師に関する専門教育科目

科 目 名	単 位
母子の心理と社会	1
助産学概論	1
母子の基礎科学	3
地域母子保健	1
母子の健康教育	1
助産診断・技術学	2
助産診断・技術学演習Ⅰ	2
助産診断・技術学演習Ⅱ	2
助産管理Ⅰ	1
助産管理Ⅱ	1
助産診断・技術実践	8
助産継続事例実践	1
地域母子保健実践	1
助産管理実践	1

合計 26 単位

② 履修期間

主に3年次、4年次に履修するよう計画されています。ただし、休暇期間中にも授業（演習実習を含む）があります。また、休日及び夜間でも実習をしなければならないことがあります。

③ 履修手続きと選考

履修手続きの詳細は別に説明をします。選考方法は、選考基準に従って行われます。

(3) 教職に関する科目の履修案内

免許状には高等学校教諭一種免許状（看護）及び養護教諭一種免許状があります。教育職員免許状を得るには、教育職員免許法に基づく、教職に関する科目を履修し、その単位を修得しなければなりません。

① 教育職員免許法に基づく基礎資格と最低単位数

a. 教育職員免許法に定める基礎資格及び単位数

免許状の種類	基礎資格	教科・養護に関する科目	教職に関する科目	教科・養護又は教職に関する科目
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	20 単位	23 単位	16 単位
養護教諭一種免許状	学士の学位を有すること	28 単位	21 単位	7 単位

b. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目及び本学の授業科目単位数（教員免許状取得共通）

教育職員免許法施行規則に定める科目	単位	本学の授業科目	単位		教員必修
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		○
体育	2	健康スポーツ I	1		○
		健康スポーツ II	1		○
外国語コミュニケーション	2	英会話	1		○
		原著で読む看護論	2		○
情報機器の操作	2	情報処理	1		○
		看護統計学	1		○
計	8	計	9	0	9

② 高等学校教諭一種免許状（看護）

a. 教育職員免許法施行規則に定める教科に関する科目及び本学の授業科目単位数

教育職員免許法施行規則 に定める科目	単位	本学授業科目	単 位		教免 必修
			必修	選択	
「生理学、生化学、病理学、 微生物学、薬理学」	20	人体探検科学（機能）	2		○
		生体栄養学	2		○
		看護病態学	2		○
		生体防御論	2		○
		看護薬理学	2		○
看護学 (成人看護学、老年看護学 及び母子看護学含。)		看護原論	2		○
		看護の思想	1		○
		発達援助論	2		○
		がんを病む人の援助論	2		○
		老年看護学概論	1		○
		老年看護学	1		○
		精神看護学概論	1		○
		精神看護学	1		○
		女性の健康	2		○
		こども成育論	2		○
		こども看護学	1		○
		在宅看護論	1		○
		看護実習	発達援助実践	2	
看護方法論実践			2		○
健康回復支援実践（基礎）			3		○
老年看護実践	4			○	
計	20	計	38		38

〔高等学校教諭一種免許状（看護）〕

b. 教育職員免許法施行規則に定める教職に関する科目及び本学の授業科目単位数

教育職員免許法施行規則に定める科目			単 位	本学授業科目	単 位		教免 必修	備考
					必修	選択		
第二欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割	2	教職論		2	○	
		・教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等		学校インターンシップ1		1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理		2	○	
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		発達と教育		2	○	
		・教育に関する社会的制度的又は経営的事項		教育制度論		2	○	
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	6	カリキュラム編成論		2	○	
		・各教科の指導法		看護科教育法		2	○	
		・特別活動の指導法		特別活動の指導法		2	○	
		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）		教育の方法・技術		2	○	
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	生徒指導の研究		2	○	
		・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法		2	○	
第六欄	教育実習		3	教育実習Ⅰ		1	○	
				教育実習Ⅱ		2	○	学外
第六欄	教職実践演習		2	教職実践演習（中・高）		2	○	
計			23	計		26	25	

〔高等学校教諭一種免許状（看護）〕

c. 教育職員免許法施行規則に定める教科又は教職に関する科目及び本学の授業科目単位数

教育職員免許法施行規則 に定める科目	単位	本学の授業科目	単 位		教免 必修
			必修	選択	
教科又は教職に関する科目	16	看護と倫理	2		○
		看護科学	1		○
		看護診断学概説	1		○
		看護診断学	1		○
		援助技術論	2		○
		生活援助論	1		○
		診療援助論	1		○
		人体探検科学（構造）	2		○
		生活調整援助論（病態編）	1		○
		生活調整援助論（看護編）	2		○
		生活再構築援助論（病態編）	1		○
		生活再構築援助論（看護編）	2		○
		計	16	計	17

③ 養護教諭一種免許状

a. 教育職員免許法施行規則に定める養護に関する科目及び本学の授業科目単位数

教育職員免許法施行規則 に定める科目	単位	本学授業科目	単 位		教免 必修
			必修	選択	
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	社会保障制度と健康	1		○
		健康論	1		○
		地域看護	1		○
		地域看護実践	1		○
学校保健	2	学校保健		2	○
養護概説	2	養護概論		2	○
健康相談活動の理論及び方法	2	健康相談活動の理論及び方法		2	○
栄養学 (食品学を含む。)	2	生体栄養学	2		○
		病態栄養学	1		○
解剖学及び生理学	2	人体探検科学 (構造)	2		○
		人体探検科学 (機能)	2		○
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	生体防御論	2		○
		看護薬理学	2		○
精神保健	2	人間関係論	2		○
		こころとからだの科学	1		○
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	看護原論	2		○
		看護の思想	1		○
		クリティカルケア	1		○
		リハビリテーション看護	1		○
		こども成育論	2		○
		こども看護学	1		○
		こども保健実習	1		○
		こども看護実践	2		○
		看護方法論実践	2		○
		発達援助実践	2		○
計	28	計	33	6	39

〔養護教諭一種免許状〕

b. 教育職員免許法施行規則に定める教職に関する科目及び本学の授業科目単位数

教育職員免許法施行規則に定める科目		単位	本学の授業科目	単 位		教免 必修	備 考
				必修	選択		
第二欄	教職の意義等に関する科目	2	教職論		2	○	
			学校 インターンシップ I		1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理		2	○	
			発達と教育		2	○	
			教育制度論		2	○	
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	4	カリキュラム編成論		2	○	
			道徳の指導法		2	○	
			特別活動の指導法		2	○	
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		2	○			
生徒指導、 教育相談及び 進路指導等に関する 科目	4	4	生徒指導の研究		2	○	
			教育相談の理論と方法		2	○	
第五欄	養護実習	5	養護実習 I		1	○	
			養護実習 II		4	○	学外
第六欄	教職実践演習	2	教職実践演習 (養護教諭)		2	○	
計		21	計		28	27	

〔養護教諭一種免許状〕

- c. 教育職員免許法施行規則に定める養護又は教職に関する科目及び本学の授業科目単位数

教育職員免許法施行規則 に定める科目	単位	本学の授業科目	単 位		教免 必修
			必修	選択	
養護又は教職に関する科目	7	援助技術論	2		○
		生活援助論	1		○
		診療援助論	1		○
		生活調整援助論（病態編）	1		○
		生活調整援助論（看護編）	2		○
計	7	計	7		7